

# 図書館 だより

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111  
 内線 303

## 閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

## 司書のつばやき

毎月第3土曜日、  
旭志おはなし会開催！

ホタル



## 新着・お薦め図書

### 泗水図書館

青い花 辺見庸 著  
 いつも彼らはどこかに 小川洋子 著  
 愛に乱暴 吉田修一 著  
 わたくしたちの成就 茨木のり子 著  
 九州オートキャンプ場ベストガイド 旅ムック編集部 著  
 馳星周の喰人魂 馳星周 著  
 夏っ飛び！ 横山充男 著  
 かげ 鈴木靖将 絵

### 中央公民館図書室

長生きしたけりゃ肉は食べるな 若杉友子 著  
 弁護士が教える絶対負けられない反論術 上野勝 著  
 野の花ごはん 前田まゆみ 著  
 名も無き世界のエンドロール 行成薫 著  
 13歳からの拉致問題 蓮池透 著  
 メガネをかけたら くすのきしげのり 作

### 七城公民館図書室

小野寺の弟・小野寺の姉 西田征史 著  
 75年目のラブレター 貴島テル子 著  
 すいか！ 石津ちひろ 著  
 おばけやさん③ おかべりか 著

### 旭志公民館図書室

余命1年のスタリオン 石田衣良 著  
 60歳からはじめる寝たきりにならない超簡単筋力づくり 周東寛 著  
 しろくまのパンツ tupera tupera 作  
 オオカミがとびひ ミロコマチコ 著

## 夏・泗水図書館に出かけましょう！

泗水図書館は平成9年に開館し、今年8月で16年目を迎えます。現在、図書約78,000冊、CD約1,200本、DVD約500本を所蔵しており多くの市民に利用されています。館内はバリアフリー構造で車椅子の人でも利用しやすいです。

木製の本棚と明るいフロア、そして雑誌コーナーにあるちゃぶ台が、お茶の間のような雰囲気を醸し出す図書館です。話題の本・新刊本・各コーナーからと、さまざまな情報発信をしています。おはなし会やイベント・講座なども企画していますので、ぜひご参加ください。

昨年の夏は九州北部豪雨災害の被害を受け休館していましたが、現在は元どおりになりました。「本は大切な宝物！」暑い夏、涼しい図書館で読書はいかがですか！



私たち司書がお待ちしています！

## 耳より情報

### 泗水図書館～夏の行事～

8月は土曜・日曜も午後6時まで開館しています。皆様のご来館をお待ちしています。

#### ★毎日おはなし会★

～8月24日(土) 午後2時～2時30分  
 期間中は毎日おはなし会があります。

#### ★読書マラソン★

～8月24日(土)  
 本を読んでスタンプを集めよう！



#### ★としょかん夜市★

8月10日(土) 午後5時～8時  
 こわ～いおはなし会、ミニシアターほか  
 楽しいイベントを用意しています。  
 みんなで遊びに来てね！

※当日は午後8時まで開館します。

#### ★おたのしみ会★

8月18日(日)  
 こびと人形を作ろう！(定員15人)



### 万句の里俳句会 6月例会

朝顔や未来を目指す蔓の先 丸山美代子  
 新しき遺影を加へ夏座敷 岩木 敬治  
 思ひきりバラ活け一人誕生日 打出 貞  
 老ふる程気丈に生きん初鯉 隈部 輝子  
 闇ありて命輝く螢かな 田島 房子

### せせらぎ俳句会 6月例会

卯の花のこぼれて蝶のつまづけり 村山 数恵  
 捨て猫はさまよふ夏至の昼も夜も 藤本 邦治  
 一息に絵筆走らす花菖蒲 五丁 義昭  
 あじさいの色褪せ早し空梅雨か 寺本 和子  
 はなやかに五色紫陽花咲きし庭 服部 静子

### 旭志文芸教室俳句会 6月詠草

百打ちしグランドゴルフ青嵐 水谷 ミネ  
 水張田に白雲流れ田から田へ 芹川のり子  
 茉莉花の引き立つ庭や椅子一つ 中尾ヨシコ

### 肥後狂句水笑会 6月例会

柿若葉くぐりて傘の女の訪ふ 芹川 蓉子  
 馬鹿らししか 瘦せても誰るも振り向かん 窪田 明德  
 大あくび 俺ア字幕に追い付かん 田中 孝幸  
 はずかしい 抱き合うところ撮られとる 田中れい子  
 やっぱ変人 違憲ちゅうけん参らした 田尻 浩風  
 目の色変えて 山菜採りが発見者 高木 房恵

### 肥後狂句水笑会 6月例会

早寝遅起き まあだねむしておこなえん 吉岡 三水  
 買い過ぎた 気前よくなる年金日 平井 江彩  
 登山口 なんかこまごまかいてある 中島 五女  
 登山口 冥土行きにはならんごつ 宮上 美由  
 何食おか 財布のぞいて品さだめ 柏原 乗仏

### 七城短歌会 6月詠草

庭に咲く紫花のアジサイが濡れて艶増し五月雨惜めぬ 岩津 涼子

### 里短歌会 6月詠草

我が身より逃れたきその一つにて疾風に肩の上着が飛べり 村上 幾雄  
 焼かんとて抜き寄せし蓼抱き持てば 処刑に抗らう臭い鼻つく 佐々 重弘  
 うからどち苗床なす日を梅雨ばしりの雨に籠りて祝宴先立つ 嶋田 晴美  
 草取りの小手に蜻蛉がふと止まる夫の化身か在りし日を憶う 岩崎 照代

### 菊池短歌会 7月例会

訝しむMRIよ解かれたり気づけば 窓の青葉耀ふ 村上さき江  
 背景の屏風ヶ岩に応へつつ百年を経し我が家安けし 山下 菊代  
 それぞれの思ひに歌ふ「花は咲く」隣国のいつまで続く挑戦か警戒止まぬ春は来たのに 緒方 悦子  
 山寺の坂を下ればさみどりの風の過ぎ行くわれを透かして 宮本 淑子  
 真っ白きYシャツを着て登庁の夫の足もと朝の陽まぶし 江頭 桂子

### 里短歌会 6月詠草

天空に人々の夢積み上げて銀に輝くスカイツリーは 梶原美智代  
 田んぼ越し「バーイ」と別れを風に乗せ小二の孫は夕焼けのなか 松本 和子  
 隣のいつまで続く挑戦か警戒止まぬ春は来たのに 緒方 悦子  
 山寺の坂を下ればさみどりの風の過ぎ行くわれを透かして 宮本 淑子  
 真っ白きYシャツを着て登庁の夫の足もと朝の陽まぶし 江頭 桂子



私は紅きガーベラ活くる 山代 静子  
 ストアまでウォーキングの遠廻り水田に街の灯伸びくる見つつ 安藤 則子  
 白菖蒲三十五回忌の夫頭たす互みに語りむ杳き日のこと 岩木 妙子

# 文芸 きくち